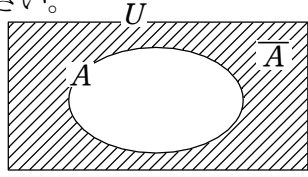


1 10以下の自然数の集合を全体集合 U とし、その部分集合である偶数の集合を A 、3の倍数の集合を B とする。次の集合を、要素を書き並べて表しなさい。

(1) $A = \{2, 4, 6, 8, 10\}$



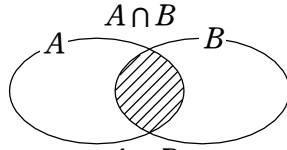
(2) $\bar{A} = \{1, 3, 5, 7, 9\}$

$U = \{1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10\}$ より

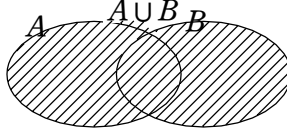
(3) $A \cap B = \{6\}$

$B = \{3, 6, 9\}$

$A = \{2, 4, 6, 8, 10\}$ より



(4) $A \cup B = \{2, 3, 4, 6, 8, 9, 10\}$



2 100以下の自然数の集合を全体集合 U とする。 U の要素のうち、4の倍数の集合を A 、6の倍数の集合を B とする。次の値を求めなさい。

(1) $n(A)$ $n(A)$: 集合 A の要素の個数

解答 $100 \div 4 = 25$ だから $n(A) = 25$ (個)

(2) $n(B)$

解答 $100 \div 6 = 16$ あまり4 だから

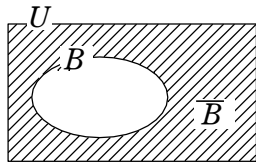
$n(B) = 16$ (個)

(3) $n(\bar{B})$ $n(\bar{B})$: 集合 B の補集合の要素の個数

解答 $n(\bar{B}) = n(U) - n(B)$ より

$n(\bar{B}) = 100 - 16$

$= 84$ (個)

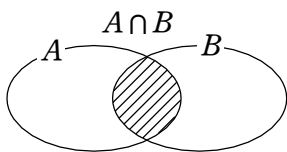


(4) $n(A \cap B)$ $A \cap B$: 共通部分

解答 $A \cap B$ は4と6の公倍数、つまり12の倍数の集合だから

$100 \div 12 = 8$ あまり4 より

$n(A \cap B) = 8$ (個)

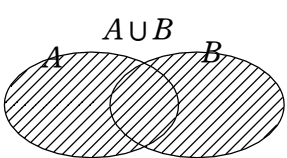


(5) $n(A \cup B)$ $A \cup B$: 和集合

解答 $n(A \cup B)$

$= n(A) + n(B) - n(A \cap B)$

$= 25 + 16 - 8 = 33$ (個)



3 大小2個のさいころを同時に投げるとき、次のような場合は何通りあるか求めなさい。

(1) 目の和が5または10

解答

大	1	2	3	4	4	5	6
小	4	3	2	1	6	5	4

和が5になる場合は4通り、和が10になる場合は3通りある。それらは同時に起こらないから、和の法則より $4 + 3 = 7$ (通り)

(2) 目の積が12の倍数

解答 目の積が12の倍数とは、目の積が12, 24, 36になることである。

大	2	3	4	6	4	6	6
小	6	4	3	2	6	4	6

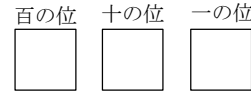
積が12になる場合は4通り、積が24になる場合は2通り、積が36になる場合は1通りで、それらは同時に起こらないから和の法則より $4 + 2 + 1 = 7$ (通り)

4 $(a + b + c + d)(x + y)$ を展開すると、項は何個できますか。

解答 $(a + b + c + d)(x + y) = (a + b + c + d)x + (a + b + c + d)y$ とできる。

x について、 a, b, c, d をかけたものが4項でき、
 y について、 a, b, c, d をかけたものが4項できる。
つまり、 $4 \times 2 = 8$ 個の項ができる。

5 1から5までの数字が書かれた5枚のカードから3枚を取り出して1列に並び、3桁の整数を作るとき、何通りの数がつくれますか。



使えるカード 5種類 4種類 3種類

百の位は、1, 2, 3, 4, 5のどの数字でも使うことができる。

十の位は、百の位で使用した数を除いた4種類の数字が使える。

一の位は、百の位、十の位で使用した数を除いた3種類の数字が使える。

解答 $5 \times 4 \times 3 = 60$ 通り

6 次の値を求めなさい。

(1) ${}_7P_2$

$= 7 \times 6 = 30$

(2) ${}_6P_3$

$= 6 \times 5 \times 4 = 120$

(3) ${}_4P_4$

$= 4 \times 3 \times 2 \times 1 = 24$

(4) ${}_{10}P_1$

$= 10$

(5) $5!$

$= 5 \times 4 \times 3 \times 2 \times 1 = 120$

(6) $0!$

$= 1$ (定義)

7 11人の生徒の中から、委員長、副委員長、書記を1人ずつ選ぶときの選び方は何通りありますか。

解答 11人から3人選んで並べることと同じだから

${}_{11}P_3 = 11 \times 10 \times 9 = 990$ (通り)

8 男子4人と女子3人が横1列に並んで写真を撮るとき、次のような並び方は何通りありますか。

(1) 7人が自由に1列に並ぶ。

解答 7人全員の並び方だから

$7! = 7 \times 6 \times 5 \times 4 \times 3 \times 2 \times 1 = 7 \times 720 = 5040$ (通り)

(2) 男子4人が隣り合うように並ぶ。

解答 $\boxed{M M M M} \textcircled{W} \textcircled{W} \textcircled{W}$

まず、男子は4人で1組、女子は1人1組にし、4組全部を並べる。その後で男子4人の並びを考える。

$4! \times 4! = (4 \times 3 \times 2 \times 1) \times (4 \times 3 \times 2 \times 1) = 24 \times 24 = 576$ (通り)

(3) 男子4人が連続しないように並ぶ。

解答 全員の並び方から、男子4人が連続する並び方を除けばよいから
 $5040 - 576 = 4464$ (通り)

(全事象) - (余事象)
※ 余事象: 反対の事象

(4) 両端が男子となるように並ぶ。

解答 $\textcircled{M} \boxed{M W W M W} \textcircled{M}$

まず、両端に男子4人から2人を並べて、その間に残り5人を並べればよいから

${}_4P_2 \times 5! = (4 \times 3) \times (5 \times 4 \times 3 \times 2 \times 1) = 12 \times 120 = 1440$ (通り)